

自然と森林、環境保全、保護の視点とラリー競技について

自動車競技、モータースポーツの一つであるラリー競技ですが、欧州を発祥とし、国内でも開催されて40年以上の歴史があり、今や文化であるとも言われています。

私自身も愛好家の一人として、その思いを強く持ち、今後の継承、発展に尽力する所存です。自動車で大自然の中を疾走する愉しみは他に換え難い物です。

しかしながら、自動車の発する騒音や、大気汚染の問題は常に存在し、私達のラリーは必ず自然環境へ影響を与える物であると言えます。

今回、いなべ福王ラリーで走行させて頂く事になりました道路は、鈴鹿国定公園の素晴らしい自然の中にあります。当地に関わる多くの方からご理解、ご協力を得て、今日を迎えているのですが、先日、当地の個人の方から初めて中止を希望する旨お話を伺いました。理由は前段の通り、車両通行による自然への影響を危惧するとの事でした。

この方の自然に対する考え方は、例え自転車であっても、山中を走行すれば自然に影響を与えるものであり、個人の欲求の為に自然に手を付けるべきではないという大変厳格なものでした。

ご意見を拝聴し、真摯に受け止めて、私なりに出した結論は、自然への影響を最小に抑える努力と、個々への意識共有、発信を継続していくという事、それからあらゆる形で、自然へ、森林へ、当地へ恩返しをさせて頂く事。

生活スタイル、考え方、趣味嗜好はそれぞれですが、ラリー愛好家も、山や自然を愛する者の一人であることに間違いありません。

ただ、今回伺ったように、もっと厳しい視点で、自然、森林を守り、愛している人が大勢いらっしゃる事を思い、そんな皆さんの気持ちを無視する事無く、大切にしながら私達のラリーが共存して行けるように、油断無く留意していきたいと思う次第です。

12月2日頃はきっと素晴らしい紅葉の中であると思います。コース内では、ハイカーの方の通行をお断りしてこのラリーは開催される事になります。

皆様におかれましても、今回のラリーを通じて、自然、森林、環境への思いをより一層高めて頂きたく、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

いなべ福王ラリー実行委員会

JAF 加盟モータースポーツクラブ トライアルスタッフオン!

代表 竜田 健